**2023年度国際交流基金海外派遣日本語上級専門家・日本語専門家**

**応　募　用　紙**

（2022年　　月　　日現在）

写真

(無帽・正面)

＊6か月以内に撮影

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏　　名 | ローマ字 |  | |
| 漢　　字 |  | |
| 生年月日 | | 年 月 日( )歳(2023年4月1日時点) | |
| 国　　籍 | |  | 日本語母語話者である |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 現住所  （日本国外の場合は  英字表記） | 〒 | |
|  | |
| TEL： | 携帯電話： |
| E-mail： | |
| ※現住所が日本国外の場合は、次の欄に日本国内の連絡先を記入してください。 | | |
| 日本国内連絡先 | 〒 | |
|  | |
| TEL： |  |
| 連絡先名(続柄)： | |
| 選考結果の  郵送先 | 上記 現住所  上記 日本国内連絡先  その他（以下に記入）  〒 | |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 現在の主たる  勤務先 | 名称 |  | | | |
| 連絡先 | 住所： | | | |
| TEL： | | | |
| 職名 |  | 形態 | 常勤 | 非常勤 |

|  |  |
| --- | --- |
| 「みなと」登録ユーザーID（6桁） |  |
| ユーザーID文字表記（確認用） |  |
| オンライン試験受験地 | 受験時の滞在国または地域： |
| 滞在都市（滞在国内に複数の時間帯がある場合）： |

※「みなと」登録ユーザーID：オンライン試験（第１次選考通過者に対して実施）の受験に必要なため、IDを登録の上、記入してください。

※ユーザーID文字表記（確認用）：オンライン試験を円滑に進めるため、ユーザーIDを数字と英字、英字の大文

字と小文字の区別がわかるように文字表記してください。

（例）ユーザーID「JF1lo0」の場合

→英大文字ジェイ・英大文字エフ・数字イチ・英小文字エル・英小文字オー・数字ゼロ

|  |  |
| --- | --- |
| 国際交流基金ウェブサイトの「新型コロナウイルス感染症拡大にともなう日本語上級専門家・日本語専門家・日本語指導助手派遣事業への影響の可能性について」を確認して、右側のボックスにチェックを入れてください。  https://www.jpf.go.jp/j/about/recruit/japanese\_expert\_faq.html | 確認済み |

**1．学歴　（大学入学以降）**

※記入欄が足りない場合は新たに欄を挿入の上、記入してください。

※論文の概要欄には、日本語教育及び周辺領域に関連した内容であることが分かるように具体的に記入して

ください。

(1) 在学期間：　　　　年　　月～　　　　年　　月（卒業 修了 中退）

　【種　別】　大学　大学院　その他（　　　　　　　　　　　）

　【学　位】　学士　修士　博士　その他（　　　　　　　　　　　　　　　 　）

【学校名】　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（学部、学科、専攻まで記入）

　【論文名】

（卒論　修論　博論）

（概要：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　）

(2) 在学期間：　　　　年　　月～　　　　年　　月（卒業 修了 中退）

　【種　別】　大学　大学院　その他（　　　　　　　　　　　）

　【学　位】　学士　修士　博士　その他（　　　　　　　　　　　　　　　 　）

【学校名】　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（学部、学科、専攻まで記入）

　【論文名】

（卒論　修論　博論）

（概要：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　）

(3) 在学期間：　　　　年　　月～　　　　年　　月（卒業 修了 中退 単位取得退学）

　【種　別】　大学　大学院　その他（　　　　　　　　　　　）

　【学　位】　学士　修士　博士　その他（　　　　　　　　　　　　　　　 　）

【学校名】　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（学部、学科、専攻まで記入）

　【論文名】

（卒論　修論　博論）

（概要：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　）

**2．日本語教育能力検定試験**

　　　　年合格

**3．主な教師養成講座・日本語教育研修会　受講歴**

※記入欄が足りない場合は新たに欄を挿入の上、記入してください。

(1) 期間：　　　　年　　月～　　　　年　　月

　【機関名】

　【内　容】

【時　間】

(2) 期間：　　　　年　　月～　　　　年　　月

【機関名】

　【内　容】

　【時　間】

(3) 期間：　　　　年　　月～　　　　年　　月

　【機関名】

　【内　容】

　【時　間】

**4．日本語教育に関わる主な業績（論文・著作・講演・学会発表・教材開発等）**

※記入欄が足りない場合は新たに欄を挿入の上、記入してください。

(1) 　　　　年　　月【内容】

(2) 　　　　年　　月【内容】

(3) 　　　　年　　月【内容】

**5．所属学会・研究会**

※記入欄が足りない場合は新たに欄を挿入の上、記入してください。

**6．日本語教育関連の職歴　　【日本国内】**

※記入欄が足りない場合は新たに欄を挿入の上、記入してください。

【職歴年月数合計】（　　年　　か月）

※同時に複数の職歴がある場合は、重複期間を除いた合計年数と月数を記入してください。

(1) 　　　　年　　月～　　　　年　　月（　　年　　か月）

【機関名】

【対象層】　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（外国人留学生・邦人日本語教師等）

【レベル】　初級　中級　上級　その他（　　　　　　　　　　　　　　　 　）

　【指導時間／週】

　【常勤・非常勤の別】　常勤　非常勤　その他（　　　　　　　　　　）

(2) 　　　　年　　月～　　　　年　　月（　　年　　か月）

【機関名】

【対象層】　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（外国人留学生・邦人日本語教師等）

【レベル】　初級　中級　上級　その他（　　　　　　　　　　　　　　 　　）

　【指導時間／週】

　【常勤・非常勤の別】　常勤　非常勤　その他（　　　　　　　　　　）

(3) 　　　　年　　月～　　　　年　　月（　　年　　か月）

【機関名】

【対象層】　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（外国人留学生・邦人日本語教師等）

【レベル】　初級　中級　上級　その他（　　　　　　　　　　　　　　　 　）

　【指導時間／週】

　【常勤・非常勤の別】　常勤　非常勤　その他（　　　　　　　　　　）

(4) 　　　　年　　月～　　　　年　　月（　　年　　か月）

【機関名】

【対象層】　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（外国人留学生・邦人日本語教師等）

【レベル】　初級　中級　上級　その他（　　　　　　　　　　　　　　 　　）

　【指導時間／週】

　【常勤・非常勤の別】　常勤　非常勤　その他（　　　　　　　　　　）

(5) 　　　　年　　月～　　　　年　　月（　　年　　か月）

【機関名】

【対象層】　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（外国人留学生・邦人日本語教師等）

【レベル】　初級　中級　上級　その他（　　　　　　　　　　　　　　　 　）

　【指導時間／週】

　【常勤・非常勤の別】　常勤　非常勤　その他（　　　　　　　　　　）

**7．日本語教育関連の職歴　　【日本国外】**

※国際交流基金からの派遣歴は、次の「8．国際交流基金からの派遣歴」欄に記入してください。

※記入欄が足りない場合は新たに欄を挿入の上、記入してください。

【職歴年月数合計】（　　年　　か月）

※同時に複数の職歴がある場合は、重複期間を除いた合計年数と月数を記入してください。

(1) 　　　　年　　月～　　　　年　　月（　　年　　か月）

【派遣先国名】　　　　　　　　　　　【機関名】

　《派遣元機関・団体名》

【対象層】　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（大学生・一般・日本語教師等）

【レベル】　初級　中級　上級　その他（　　　　　　　　　　　　　　　 　）

　【指導時間／週】

　【常勤・非常勤等の別】　常勤　非常勤　その他（　　　　　　　　　　）

(2) 　　　　年　　月～　　　　年　　月（　　年　　か月）

【派遣先国名】　　　　　　　　　　　【機関名】

　《派遣元機関・団体名》

【対象層】　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（大学生・一般・日本語教師等）

【レベル】　初級　中級　上級　その他（　　　　　　　　　　　　　　 　　）

　【指導時間／週】

　【常勤・非常勤等の別】　常勤　非常勤　その他（　　　　　　　　　　）

(3) 　　　　年　　月～　　　　年　　月（　　年　　か月）

【派遣先国名】　　　　　　　　　　　【機関名】

　《派遣元機関・団体名》

【対象層】　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（大学生・一般・日本語教師等）

【レベル】　初級　中級　上級　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　 ）

　【指導時間／週】

　【常勤・非常勤等の別】　常勤　非常勤　その他（　　　　　　　　　　）

(4) 　　　　年　　月～　　　　年　　月（　　年　　か月）

【派遣先国名】　　　　　　　　　　　【機関名】

　《派遣元機関・団体名》

【対象層】　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（大学生・一般・日本語教師等）

【レベル】　初級　中級　上級　その他（　　　　　　　　　　　　　　 　　）

　【指導時間／週】

【常勤・非常勤等の別】　常勤　非常勤　その他（　　　　　　　　　　）

(5) 　　　　年　　月～　　　　年　　月（　　年　　か月）

【派遣先国名】　　　　　　　　　　　【機関名】

　《派遣元機関・団体名》

【対象層】　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（大学生・一般・日本語教師等）

【レベル】　初級　中級　上級　その他（　　　　　　　　　　　　　　　 　）

　【指導時間／週】

【常勤・非常勤等の別】　常勤　非常勤　その他（　　　　　　　　　　）

**8．国際交流基金からの派遣歴**

※日本語上級専門家・日本語専門家・日本語指導助手・EPA日本語講師・米国若手日本語教員（J-LEAP）等の派遣歴を記入してください。(日本語パートナーズ、生活日本語コーディネーターの派遣歴は9-1. に記入してください。)

※現在派遣中の場合も記入してください。

※記入欄が足りない場合は新たに欄を挿入の上、記入してください。

【職歴年月数合計】（　　年　　か月）

(1) 　　　　年　　月～　　　　年　　月（　　年　　か月）

【プログラム／ポスト種別】

日本語上級専門家　日本語専門家　日本語指導助手　EPA日本語講師

米国若手日本語教員　その他（　　　　　　　　　　　　　　　）

【派遣先国名】　　　　　　　　　　　【機関名】

(2) 　　　　年　　月～　　　　年　　月（　　年　　か月）

【プログラム／ポスト種別】

日本語上級専門家　日本語専門家　日本語指導助手　EPA日本語講師

米国若手日本語教員　その他（　　　　　　　　　　　　　　　）

【派遣先国名】　　　　　　　　　　　【機関名】

(3) 　　　　年　　月～　　　　年　　月（　　年　　か月）

【プログラム／ポスト種別】

日本語上級専門家　日本語専門家　日本語指導助手　EPA日本語講師

米国若手日本語教員　その他（　　　　　　　　　　　　　　　）

【派遣先国名】　　　　　　　　　　　【機関名】

(4) 　　　　年　　月～　　　　年　　月（　　年　　か月）

【プログラム／ポスト種別】

日本語上級専門家　日本語専門家　日本語指導助手　EPA日本語講師

米国若手日本語教員　その他（　　　　　　　　　　　　　　　）

【派遣先国名】　　　　　　　　　　　【機関名】

(5) 　　　　年　　月～　　　　年　　月（　　年　　か月）

【プログラム／ポスト種別】

日本語上級専門家　日本語専門家　日本語指導助手　EPA日本語講師

米国若手日本語教員　その他（　　　　　　　　　　　　　　　）

【派遣先国名】　　　　　　　　　　　【機関名】

(6) 　　　　年　　月～　　　　年　　月（　　年　　か月）

【プログラム／ポスト種別】

日本語上級専門家　日本語専門家　日本語指導助手　EPA日本語講師

米国若手日本語教員　その他（　　　　　　　　　　　　　　　）

【派遣先国名】　　　　　　　　　　　【機関名】

**9-1．その他の職歴（日本語教育関連）**

※上記6．～8．以外の日本語教育関連の職歴を記入してください。

※日本語パートナーズ、生活日本語コーディネーターの派遣歴はこちらに記入してください。

※日本語教育関連の教育実習、ティーチングアシスタント、チューター、個人教授、インターンの職歴はこち

らに記入してください。

※アルバイトの職歴は記入しないでください。

※記入欄が足りない場合は新たに欄を挿入の上、記入してください。

(1) 　　　　年　　月～　　　　年　　月

(2) 　　　　年　　月～　　　　年　　月

(3) 　　　　年　　月～　　　　年　　月

(4) 　　　　年　　月～　　　　年　　月

(5) 　　　　年　　月～　　　　年　　月

(6) 　　　　年　　月～　　　　年　　月

(7) 　　　　年　　月～　　　　年　　月

**9-2．その他の職歴（日本語教育関連以外）**

※上記6．～9-1．以外の職歴を記入してください。

※記入欄が足りない場合は新たに欄を挿入の上、記入してください。

(1) 　　　　年　　月～　　　　年　　月

(2) 　　　　年　　月～　　　　年　　月

(3) 　　　　年　　月～　　　　年　　月

(4) 　　　　年　　月～　　　　年　　月

(5) 　　　　年　　月～　　　　年　　月

(6) 　　　　年　　月～　　　　年　　月

(7) 　　　　年　　月～　　　　年　　月

**10．過去の本募集への応募経験**

※応募経験の有無をチェックし、「あり」の場合には該当する受験年を全て記入し、合否も記入してください。

※記入欄が足りない場合は新たに欄を挿入の上、記入してください。

あり　なし

↓

(1) 　　　　年　合格　不合格　補欠

(2) 　　　　年　合格　不合格　補欠

(3) 　　　　年　合格　不合格　補欠

(4) 　　　　年　合格　不合格　補欠

**11．趣味**

**12．特技**

**13．資格・免許等**

【普通自動車運転免許】　あり　なし

　【教員免許】

　【その他】

**14．随伴の可能性のある家族**

※記入欄が足りない場合は新たに欄を挿入の上、記入してください。

(1) 氏名　　　　　　 　（氏名省略可）　【続柄】　　　　【年齢】

(2) 氏名　　　　　　 　（氏名省略可）　【続柄】　　　　【年齢】

(3) 氏名　　　　　　 　（氏名省略可）　【続柄】　　　　【年齢】

(4) 氏名　　　　　　 　（氏名省略可）　【続柄】　　　　【年齢】

**15．外国語能力**

※評価は、下記URLの文部科学省の英語の「各資格・検定試験とCEFRとの対照表」を参照の上、CEFRによる6段階評価で記入してください。

https://www.mext.go.jp/b\_menu/shingi/chousa/koutou/091/gijiroku/\_\_icsFiles/afieldfile/2018/07/27/1407616\_003.pdf

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| (1) 英語　【評価】 | | TOEFL　　 　点（　　　　年　　月）／TOEIC　 　　点（　　　　年　　月）  その他の検定（検定名：　　　　　　／スコア・級：　　　　）（　　　　年　　月） |
| (2) その他の外国語 |

※記入欄が足りない場合は新たに欄を挿入の上、記入してください。

《　　　　　　　　語》【評価】　　（検定名：　　　　　　　／スコア・級：　　）（　　　　年　　月）

《　　　　　　　　語》【評価】　　（検定名：　　　　　　　／スコア・級：　　）（　　　　年　　月）

(3)外国語能力についての自己アピール

※上級専門家・専門家としての業務に活かせる、これまでの外国語使用経験などの実績があれば記入してく

ださい。

**16．応募種別・赴任希望地**

(1)応募種別

上級専門家のみ単願　　専門家のみ単願　　上級専門家と専門家の併願

　　以下、該当する方はチェックしてください。

　※日本語指導助手との併願も可能ですが、応募する場合は、日本語指導助手専用の応募用紙に別途記入して提出してください。

指導助手にも応募している

(2) 上級専門家として赴任を希望する派遣先、アピールできる能力・経験

※希望度は、上級専門家として赴任を希望する最大3つの派遣先国・地域について、希望の強さの度合が分

かるようカッコ内に数字（整数）を記入してください。希望順位間に差がなく同率でも構いませんが、100％

を超えないようにしてください。（例1：第1希望　60％、第2希望　30％、第3希望　10％／ 例2：第1希望　33％、第2希望　33％、第3希望　33％）

※アピールできる能力・経験の欄には、公募ポスト一覧の業務の概要を参照して、希望のポストで求められる

資質・能力を分析の上、記入してください。

　【第1希望】希望度（　　　）％

　　　派遣先国・地域：　　　　　　　　　　　　　　派遣先都市：

　　　派遣先機関：

　アピールできる能力・経験：

　【第2希望】希望度（　　　）％

　　　派遣先国・地域：　　　　　　　　　　　　　　派遣先都市：

　　　派遣先機関：

　アピールできる能力・経験：

　【第3希望】希望度（　　　）％

　　　派遣先国・地域：　　　　　　　　　　　　　　派遣先都市：

　　　派遣先機関：

　アピールできる能力・経験：

(3) 専門家として赴任を希望する派遣先、アピールできる能力・経験

※希望度は、専門家として赴任を希望する最大3つの派遣先国・地域について、希望の強さの度合が分かる

ようカッコ内に数字（整数）を記入してください。希望順位間に差がなく同率でも構いませんが、100％を超えないようにしてください。（例1：第1希望　60％、第2希望　30％、第3希望　10％／ 例2：第1希望　33％、第2希望　33％、第3希望　33％）

※アピールできる能力・経験の欄には、公募ポスト一覧の業務の概要を参照して、希望のポストで求められる

資質・能力を分析の上、記入してください。

　【第1希望】希望度（　　　）％

　　　派遣先国・地域：　　　　　　　　　　　　　　派遣先都市：

　　　派遣先機関：

　アピールできる能力・経験：

　【第2希望】希望度（　　　）％

　　　派遣先国・地域：　　　　　　　　　　　　　　派遣先都市：

　　　派遣先機関：

　アピールできる能力・経験：

　【第3希望】希望度（　　　）％

　　　派遣先国・地域：　　　　　　　　　　　　　　派遣先都市：

　　　派遣先機関：

　アピールできる能力・経験：

(4) 上記(2)及び(3)以外の派遣先となった場合の派遣希望有無

希望する　　希望しない

(5) 赴任を希望しない派遣先国・地域、都市、機関、その理由（特にある場合のみ記入）

(6) 赴任先についての希望（日本人学校の有無、業務内容、気候等の条件）

**17．赴任可能時期**

20　　年　　月以降　※現職や家族の都合等で支障がある場合のみ記入してください。

**応募用紙は次のページに続きます**

|  |
| --- |
| 18．海外で日本語教育に従事したい理由、抱負、本プログラムへの応募理由について、記  述してください。 |

（以下、記述欄）

|  |
| --- |
| 19．派遣を希望する国や地域での日本語教育における一番の課題は何か、あなたの考え  を述べてください。また、その課題解決に向けて、日本語専門家が果たすべき役割と、  その役割を果たすために必要な自己研鑽は何かについてを記述してください。  （日本語上級専門家に応募する方（併願含む）は、日本語上級専門家を想定して記述してください。） |

（以下、記述欄）

|  |
| --- |
| 20．派遣を希望する国や地域における特定の教育段階の学習者を想定し、その学習者の背景やニーズに合った日本語教育のコースまたは授業を、ICTを活用して全部または一部を遠隔から実施する前提でデザインしてください。（教師を対象とする研修等は含みません）  適宜図表を挿入、別紙添付しても構いません。その際、以下の点を記述してください。（ポイントを押さえて設問文含めて2ページ以内（ページ数厳守）。別紙で図表添付をする場合は左の2ページには含みませんが、A4で2ページ以内としてください。  (1) 対象となる学習者：　国、教育段階、年齢、ニーズ、レベル、クラスサイズ等  (2) コース／授業について：　時間数（コースの場合は回数と1回の時間数）、コース／授業の目標、具体的な1回分の授業の学習活動、教材等  この課題は以下の各点を総合的にみるもので、調査分析結果や個別事実の正確性そのものを評価するものではありません。  ・情報収集力　・論理的思考力　・他者に分かりやすく説明する力　・日本語教授に関わる企画力　・構成力 |
| 記述する内容を選択してください。　　コースデザイン　授業デザイン |
| 主に参考にした資料を記入してください。 |

（以下、記述欄）

**21．今回の募集を知ったきっかけ2**

　　※該当する項目をチェックの上、可能な範囲で具体的に記入してください。（複数選択可）

国際交流基金からのインターネット情報

（HP　Twitter　Facebook）

国際交流基金のチラシ・ポスター

　　　（確認した場所：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

国際交流基金の説明会（2019年度以前）

　　　（参加した月日・会場：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

国際交流基金以外からのインターネット情報（日本語教師募集情報関連サイト・

ウェブ広告等）

（具体的な情報元：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

（HP　Twitter　Facebook　その他　　　　　　　　　　　　　　　　　）

日本語教師募集情報紙

　　　（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

学校等からの紹介

　　　（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

友人・知人から

その他

　　　（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

応募用紙は自身の分としての控えを保管してください。面接選考に進んだ場合、応募用紙の内容に関して質問することがあります。